

令和4年度水戸保健医療福祉協議会及び第4回水戸地域医療構想調整会議 議事録

1. 日時 令和5年3月2日(木)18時30分から20時15分
2. 開催方式 オンライン会議
3. 出席者 別添「出席者名簿」のとおり
4. 令和4年度水戸保健医療福祉協議会

(1)出席者の紹介

令和4年度中に新たに就任した委員11名を紹介し、水戸保健医療福祉協議会18名の委員が出席していることを報告した。

(2)水戸保健医療福祉協議会長・副会長の選任

協議会設置要綱第5条により、会長に細田委員、副会長に高橋委員を選任した。

(3)議事

議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行った。

①茨城県保健医療計画について

令和5年度に策定作業を行う第8次計画(計画期間:2024年度から2029年度の6年間)について、がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患の5疾病及び救急医療、災害医療、へき地医療、周産期、小児医療の5事業に加え、新興感染症等への対応が追加され6事業となり、さらに在宅医療等について記載されること等を報告した。

②新型コロナウイルス感染症対策について

水戸医療圏の新型コロナウイルス感染症発生状況等について報告した。

5. 令和4年度第4回水戸地域医療構想調整会議

(1)出席者の紹介

水戸地域医療構想調整会議27名の委員が出席し、委員以外に、地域医療構想アドバイザー、管内市町、県関係機関等が出席していることを報告した。

(2)議長の選任

会議設置要綱第7条により、細田会長が議長に就いた。

(3)議事録署名人の指名

議長は、会議設置要綱第10条により、会議録署名人に石塚委員及び保立委員を指名した。

(4) 会議の公開

会議設置要綱第 9 条により公開とした。

(5) 議事

議長は、事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換(別紙参照)が行われた。

① 水戸医療圏における許可病床の変動について

・該当医療機関(総合病院水戸協同病院、水戸済生会総合病院)から補足説明を求め、委員の承認の是非は、後日書面での提出を求めた。書面での意見聴取の結果、過半数以上の承認を得て、了承された。

② 水戸医療圏におけるフラッグシップホスピタルに係る意向確認結果について

・水戸医療圏の拠点化・集約化、医療機能の高度化の方向性について検討するため、5 病院(水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、総合病院水戸協同病院、茨城県立中央病院、国立病院機構水戸医療センター)を対象とし実施した意向調査の結果について、5 病院に説明を求めた。

・厚生労働省の重点支援区域事業について、県医療政策課に説明を求めた。

・高度急性期医療を担うフラッグシップホスピタルの必要性及び地域医療密着型病院の整備について、継続して県と協力しながら、検討していくことが合意された。

③ 医療機関の拠点化・集約化に向けた今後の方向性について

・水戸医療圏有床医療機関あて調査をした「各医療機関における具体的対応方針の検討について」の結果より、5 疾病・5 事業、感染症対策、在宅医療について現在の取り組み状況と 2025 年度に予定する対応状況を比較した。

・水戸医療圏における今後の方向性として、以下 3 点とすることが合意された。

ア) 地域医療支援病院の 5 病院(水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、総合病院水戸協同病院、茨城県立中央病院、国立病院機構水戸医療センター)を対象とした再編統合及び高度急性期医療を担うフラッグシップホスピタルの設置(必要性含む)について、県と協力して、引き続き検討していく。

イ) 回復期及び地域包括ケアの充実のため、関係機関と調整し、回復期の増床整備を定期的に把握し、本会議で進捗確認を行う。

ウ) 在宅医療の充実を図るため、訪問診療の状況を把握するとともに、市町村及び市郡医師会、訪問看護ステーション等との連携調整により、在宅医療の推進を検討していく。あわせて、在宅医療において積極的役割を担う医療機関及び在宅医療に必要な連携を

担う拠点等の連携体制の充実を図る。

④令和4年度医師派遣調整に係る医師派遣要請について

- ・令和4年度医師派遣要請状況を報告した。
- ・令和4年度第3回本会議にて、令和6年度以降の医師確保計画の医師偏在指標の確定により、水戸地域が医師少数区域から外れることから、激変緩和を求めてほしい等の意見が出たことに対し、茨城県地域医療対策協議会で各有床医療機関にアンケート調査を実施し、協議予定であることから、本会としては県の対応に委ねることについて合意された。

以上をもって、全ての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。
上記を確認するため、議事録を作成し、議事録署名人が署名する。

令和5年3月29日

水戸地域医療構想調整会議会長

南田 弥太郎

議事署名人

石塚 恒夫

議事署名人

保立 武憲

令和4年度水戸保健医療福祉協議会及び第4回水戸地域医療構想調整会議 意見要旨

日時: 令和5年3月2日(木)18:30~20:15

開催方式: オンライン開催

●令和4年度第4回水戸地域医療構想調整会議議事

①水戸医療圏における許可病床の変動について

②水戸医療圏におけるフラッグシップホスピタルに係る意向確認結果について

(石塚委員)

地域密着型病院との連携視点は大事であり、当院はそのような役割を担っていると認識している。5病院の中で集約された時に、ほかの病院が地域密着型の役割を担うということか。

(細田会長)

地域密着型病院との連携については、今後議論をしていく必要がある。

(會澤委員)

再編統合は、経営や運営が一体化した新しい病院になることを想像しているが、難しいと感じる。フラッグシップホスピタルを取り巻く二次救急や地域密着の整備が必要。担い手となる民間病院に対し、手当をする等の総合的な政策が必要である。

(鈴木地域医療構想アドバイザー)

超高齢社会に対応するための高度急性期病院が水戸医療圏に必要である。県央県北100万人に対応するため、2か所あってもよい。病床数ではなく、機能にこだわり、超大型ではなく高機能の病院を作ることが求められる。この視点でいうと5病院がすでに一つ分多い。再編統合の話が少しでも進んでいけば、つくば、土浦地区に匹敵できるような高い医療機能を持った病院群ができ、県央県北100万人の県民が安心する。

(前野地域医療構想アドバイザー)

総論的な話をどのように各論に落としていくかが最大のハードルである。フラッグシップホスピタルの意向確認結果では、現状そのまま担える病院はないが、ある部分を強化し、その役割を担いたいと考えている病院がほぼすべてであるという状態が見られ、再編統合の話がまとまらない一因となっている。今後は、具体的な各論の議論を進めていく必要がある。

(高橋委員)

感染症等があった場合に、フラッグシップホスピタルを支える病院が必要。再編について、具体

的に話を進めていくなれば、特に公的病院に、病床機能や特化する医療、医師の確保、ハード整備をどのように行うか等、将来の方向性を示してもらう必要がある。再編統合については、最終的に誰の言うことを聞いてくれるのか、誰が決めるのかが悩ましいところで、堂々めぐりとなっている。具体的な将来の方向性について、行政だけで決めていくのか、または本会等で決めるのかを検討し、行政が行う支援等について議論を進めていかなければならない。議論にあたって、各病院の具体的な将来のビジョンが欲しい。

③医療機関の拠点化・集約化に向けた今後の方向性について

(生澤委員)

高度急性期の機能区分について、ICU や HCU のみを病床数とするのか、または県の方で提示された埼玉方式や静岡方式で病床数を出すのがよいのか。

(県医療政策課吉村係長)

ICU 等は、基本的には高度急性期の区分になる。最終的にどのような機能とするかは、各医療機関の判断となる。

(細田会長)

定義については、文書に明示して提示する。

④令和4年度医師派遣調整に係る医師派遣要請について

以上。

水戸保健医療福祉協議会委員名簿

区分	氏名	役職	備考		
			水戸地域医療構想調整会議委員(○)		
医師・歯科医師・薬剤師・看護師その他の医療従事者	病院長	生澤 義輔	水戸済生会総合病院長	○	
		米野 琢哉	国立病院機構水戸医療センター院長	○	・新就任(R4.4.1～)
		島居 徹	茨城県立中央病院長	○	
	医師会	細田 弥太郎	水戸市医師会長	○	・新就任(R4.7.27～)
		石塚 恒夫	笠間市医師会長	○	・新就任(R4.5.27～)
		會澤 治	県央医師会長	○	
	歯科医師会	田澤 重伸	水戸市歯科医師会長	○	
	薬剤師会	奥田 猛	水戸薬剤師会長	○	・欠席
看護協会	中島 貞子	茨城県看護協会専務理事	○		
介護	介護事業者	根本 玄	茨城県老人福祉施設協議会理事		
住民その他の地域の関係者	市町村長	高橋 靖	水戸市長	○	
		國井 豊	大洗町長	○	
	警察	落合 洋一	水戸警察署長		・新就任(R4.4.1～) ・【代理出席】 江面祐一 生活安全課長
	消防	大内 康弘	水戸市消防局消防局長	○	・新就任(R4.4.1～)
	食品衛生協会	高野 正巳	水戸食品衛生協会会長		・新就任(R4.5.24～) ・欠席
	食生活改善	山下 恵子	中央保健所・水戸市保健所管内食生活改善推進協議会長	○	・新就任(R4.6.16～)
	社協	保立 武憲	水戸市社会福祉協議会長	○	
	住民ほか	伊藤 正	茨城県介護支援専門員協会理事		
		土井 幹雄	水戸市保健所所長	○	
	茨城県議会	川津 隆	茨城県議会議員		・新就任(R5.2.15～) ・欠席
		常井 洋治	茨城県議会議員		・新就任(R5.2.15～)
委員数			21	15	

委嘱期間 県議会議員 : R5.2.15～R7.2.14
上記以外 : R3.12.1～R5.11.30

水戸地域医療構想調整会議委員名簿

区分		氏名	役職	備考
医療関係団体	医師会	細田 弥太郎	水戸市医師会長	会長
		石塚 恒夫	笠間市医師会長	
		會澤 治	県央医師会長	
	歯科医師会	田澤 重伸	水戸市歯科医師会長	
	薬剤師会	奥田 猛	水戸薬剤師会長	欠席
	看護協会	中島 貞子	茨城県看護協会専務理事	
	病院協会	諸岡 信裕	茨城県病院協会会長	
保険者	木城 洋	全国健康保険協会茨城支部長		
福祉関係団体	保立 武憲	水戸市社会福祉協議会長		
介護事業者	木村 都央	茨城県老人福祉施設協議会理事		
住民代表	山下 恵子	中央保健所・水戸市保健所管内 食生活改善推進協議会長		
市町村	高橋 靖	水戸市長		
	國井 豊	大洗町長		
保健所	吉見 富洋	中央保健所長	副会長	
	土井 幹雄	水戸市保健所長		
基幹病院等	生澤 義輔	水戸済生会総合病院長		
	米野 琢哉	国立病院機構水戸医療センター院長		
	佐藤 宏喜	水戸赤十字病院長		
	渡辺 重行	総合病院水戸協同病院院長		
	島居 徹	茨城県立中央病院長		
	平澤 直之	北水会記念病院長		
	家田 俊也	大洗海岸病院長		
	土田 博光	水戸病院長		
	丹野 英	丹野病院長		
	伊藤 道子	志村病院理事長		
	大場 正二	大場内科クリニック院長		
学識経験者	消防	大内 康弘	水戸市消防局消防局長	
	大学	田宮 菜奈子	筑波大学教授	
委員数			28	

地域医療構想アドバイザー

区分	氏名	役職	備考
地域医療構想 アドバイザー	鈴木 邦彦	一般社団法人茨城県医師会長	
	前野 哲博	国立大学法人筑波大学附属病院副病院長 ／総合診療科長	

医療機関・市町・県関係機関・事務局等 出席者名簿

区分	所属	氏名	役職
医療機関	水戸済生会総合病院	鈴木圭子	事務部長
	水戸赤十字病院	古宇田卓	事務部長
		野口明彦	企画課長
		深谷将之	企画課秘書広報室長
	総合病院水戸協同病院	飯島幸広	事務部長
	茨城県立中央病院	渡辺敦史	企画情報室長
水戸ブレインハートセンター	戸祭孝志	事務長	
一般	小野薬品工業株式会社関東第二支店茨城営業所	渡辺恭司	
市町	水戸市	大曾根明子	保健医療部長
		三宅陽子	保健総務課長
		住谷剛	保健総務課地域医療対策室長
		長洲翔太	保健総務課地域医療対策室主事
	笠間市	山本哲也	健康医療政策課長
	茨城町	桃井雅和	健康増進課長
	大洗町	本城正幸	健康増進課長
県	医療政策課	中村珠美	課長
		藤井直路	副参事
		高津戸均	医療整備グループ主任
		笹口満	医療計画グループ課長補佐
		吉村徳博	医療計画グループ係長
		瀧川諒介	医療計画グループ主事
	医療人材課	沼尻匡広	医師確保グループ課長補佐
		佐藤和也	医師確保グループ主査
		山下真司	医師確保グループ係長
	ひたちなか保健所	牛尾光宏	所長
		金本真也	技佐
		榊原みゆき	総務課地域保健推進室長
		榎戸祐太	総務課地域保健推進室主事
		荒蒔碧乃	総務課地域保健推進室主事
	病院局	軸屋智昭	病院事業管理者
事務局	中央保健所	吉見富洋	所長
		生源寺貴之	副参事兼次長兼総務課長
		長山勝良	地域保健調整監兼次長兼衛生課長
		石川尚美	地域保健調整監兼保健指導課長
		岩間美幸	健康増進課長
		佐原由美	監視指導課長
		鬼澤麻有美	保健指導課保健指導主査
		関律子	総務課地域保健推進室長
		富田和則	総務課地域保健推進室副主査
		佐藤佑香	総務課地域保健推進室主任
		菱沼隼人	総務課地域保健推進室技師